

## チューリップ露地栽培の開花状況について

平成 28 年 6 月 6 日  
経 営 普 及 課  
(農業革新支援担当)

今年のチューリップ露地栽培の開花状況について、園芸研究センターにおける主要 5 品種の調査データを紹介します。

### 1 栽培の概要

- (1) 調査場所 農業総合研究所園芸研究センター露地ほ場 (北蒲原郡聖籠町)
- (2) 調査サイズ 11cm 開花球、以前からセンター内で養成していた球根を使用
- (3) 耕種概要
- ア 植え付け 平成 27 年 10 月下旬
- イ 施肥量 基肥 N : 12 kg、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> : 12 kg、K<sub>2</sub>O : 12kg/10a  
追肥 N : 5 kg、K<sub>2</sub>O : 5kg/10a (平成 28 年 1 月)
- ウ 栽植距離 12cm × 12cm、7 条植え

### 2 気象の特徴

- (1) 今冬は 1 月にまとまった降雪があったものの、降雪量は平年よりかなり少なかった。
- (2) 2 月以降は平年に比べ高温傾向で推移し、日照時間も平年より多めだった。
- (3) 降水量は、3 月は少なかったが、4 月にまとまった降雨があり、5 月は適度な降雨が断続的に続いた。

### 3 生育の状況

- (1) 萌芽は平年より早く、展葉及び生育も平年より早くなった。
- (2) 開花は早生品種、中晩生品種とも平年に比べ 8 ~ 9 日程度早かった (表 2)。前年との比較でも、主要 5 品種平均で 3 日程度早かった (表 3)。
- (3) 開花時の花丈は平年より低く、第 1 葉は平年より短く前年並であった (表 2、表 3)。
- (4) 褐色斑点病の発生は少なかった。
- (5) ウイルス病の発症は平年並みであった。
- (6) 現地の状況 (参考)
- ・展葉は全般に平年よりやや早い。
  - ・開花は平年より 1 週間以上早い。
  - ・花丈は全般に平年より短い。
  - ・砂丘地の一部で、4 月の強風で飛砂等による茎葉の傷みが見られる。
  - ・褐色斑点病の発生は少ない。

#### 4 具体的データ

表 1 平成28年の生育実測値

系統	品 種	開花 月/日	花丈 (cm)	第1葉長 (cm)	葉幅 (cm)
T	メリーウィドー	4/12	25.3	15.0	10.7
T	プレルジューム	4/14	25.8	14.9	12.3
DH	オックスフォード	4/15	33.1	15.3	13.7
T	イルデフランス	4/15	26.0	15.7	11.1
SL	ピンクダイヤモンド	4/22	31.3	15.2	9.3
5品種の平均		4/15.6	28.3	15.2	11.4

表 2 平年（過去20年平均）と対比した生育状況

系統	品 種	平年差 (日)	花丈 (%)	第1葉長 (%)	葉幅 (%)
T	メリーウィドー	- 8.7	94	91	100
T	プレルジューム	- 8.8	83	86	94
DH	オックスフォード	- 8.1	85	81	96
T	イルデフランス	- 8.8	81	95	97
SL	ピンクダイヤモンド	- 7.8	78	82	93
5品種の平均		-8.4	84	87	96

表 3 前年（平成27年）と対比した生育状況

系統	品 種	前年差 (日)	花丈 (%)	第1葉長 (%)	葉幅 (%)
T	メリーウィドー	- 3	105	103	98
T	プレルジューム	- 2	97	107	97
DH	オックスフォード	- 1	86	97	92
T	イルデフランス	- 4	80	106	97
SL	ピンクダイヤモンド	- 3	68	93	96
5品種の平均		-2.6	84	101	96